



# 若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう  
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

子どもの月

園長 宮竹 恒

5月5日の「子どもの日」、学園では手巻き寿司・柏餅を食べてお祝いしました。子どもたちの成長を祝うとともに、今年は特に子どもの健康と幸福を願う日でもありました。

緊急事態宣言の中、迎えた5月、子どもたちが元気に楽しく過ごすことは職員にとって最大のテーマでした。子どもたちの希望を聞き、知恵をしぼり、様々な活動を行いました。

子どもと職員が一丸となって取りくんだ「運動会」、職員の子どもを喜ばせたい思いから始まった「若竹縁日」、外食が出来ない中、子どもたちの希望を叶えた「若竹食堂」等です。

子ども達の日頃の遊びに工夫を加えて行った、ゲーム大会・カード大会は、リクエストの声も多く、子どもから新たな大会の提案もあがっています。

5月は、不要不急の外出を控える生活の中、子どもたちと職員が工夫をして時間を過ごすことになりました。また、「子どもの日」だけではなく、子どもたちの幸福と健康を願った一月でもありました。

緊急事態宣言が解除され、やっと子どもたちが待ち望んでいた買い物学習も再開しました。少しずつ日常が戻ってきつつありますが、兜の緒を締めて、職員とともに子どもたちの笑顔をつくっていきたいと思います。一了一

2日



子ども・職員全員で運動会に参加しました。

ヨイドン!



真剣な顔つきでゴールを見つめる姿に成長を感じました。



## 先生頑張って、僕1番になりたいよ!

参加賞としてマクドナルのメニューから好きな物を選び園庭で食べました。いっぱい走ったよね、いっぱい笑ったね。楽しかったね。



### 俺チョコパン、私も・・・逃げ!

パン食い競争は、今回は口ではなくお箸でとる競技内容にしました。

5日



## 若竹縁日



子どもへのサフライズプレゼントとして縁日を開催しました。

職員の提案で、ミニミニ縁日をしました。子どももビックリと嬉しさに「ワッ!」と歓声があがりました。亀山学園

よりポップコーンの機械をお借りして、より縁日スタイルにしました。射的・輪投げ等で

得点に見合った商品券を獲得しそれでビンゴカードを引き換えてお菓子をゲットしました。



6日 17日

19日

## カード大会 ・ ゲーム大会

日ごろは、時間制限がある中、楽しんでいる男の子の大好きな、ゲーム大会・カード大会を行いました。トーナメント方式で行い優勝者等には表彰状が授与されました。



また女子や職員も加わり全員でババ抜きを行いました。ババ抜きの優勝者は職員でした。真剣勝負だったので子どもにも容赦はなかったよう

です。

11日

## たけのご握り

毎年行っているタケノコ堀にいきました。



やった  
大きいーぞ

どこまでが皮なの? どんどん小さくなっていくよ!



収穫した、たけのこは美味しい料理として提供されました。ごちそうさまでした。次は、何収穫に行く? 山ッ子の特権だ---



女子と一緒に腕をふるいました。

**4日（第1弾）鍋パーティ**



ミルフィーユ・味噌ちゃんこ・トマト鍋を用意しました。この時期の白菜は目が飛び出るくらい高額ですが、「どうしてもミルフィーユが！」

という熱い声に負けてしまい献立に取り入れました。旬の野菜でないと高額になることを伝え、値段を教えると「小遣いと同じ金額や」と、びっくりしていました。これも食育です。

**ご寄付ありがとうございました**

藤間勘雅智様 ジュース・鉛筆沢山  
石丸製麺(株) うどん沢山  
有限会社サン 布マスク沢山  
(株)ワークサービス マスク沢山  
穴吹トラベル 布マスク沢山  
株式会社たまや お菓子

**在籍人数** 令和2年6月1日現在

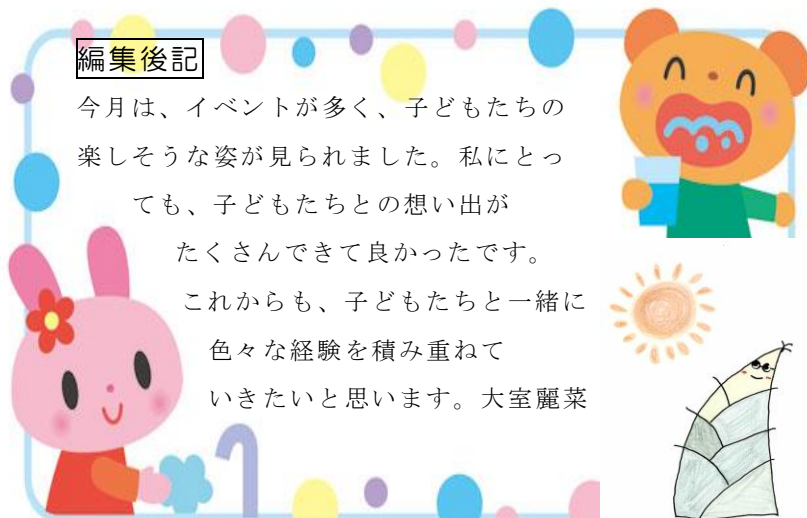
区分	県内 (人)	県外	合計
		(人)	(人)
男子	小学生	3	4
	中学生	10	11
	計	13	15
女子	小学生	4	4
	中学生	3	3
	計	7	7
合計	19	2	21

**編集後記**

今月は、イベントが多く、子どもたちの楽しそうな姿が見られました。私にとっても、子どもたちとの思い出が

たくさんできて良かったです。

これからも、子どもたちと一緒に色々な経験を積み重ねていきたいと思います。大室麗菜



※若竹学園のマスコットたけのこちゃんのイラストを募集しました。今月は中学女子の作品をご紹介します。

**第314発行**

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園編集委員

発行責任者 宮竹 恒



# 青峰・若竹学級だより 5月

## 臨時休業中の学習

5月に入っても感染症対策のための臨時休業が続いたため、児童・生徒の皆さんは、午前中の自習時間を使って課題に取り組みました。課題提出日に担任教師から点検を受けたり、分散臨時登校の機会を使って質問したりして進めることができました。



## 臨時休業中の校舎



小学校教室の入口には学級旗が掲げられています。4月の学級開きで話し合っただけで決めた「やさしく なかよく トラブルゼロ」というスローガンに手形を押して完成させたものです。

また、校舎の玄関前には金魚草や紫陽花を植えたプランターや、授業で使う予定のアサガオとホウセンカの種をまいた鉢が並んでいます。



## 登校が再開されました

5月25日から高松市内の小・中学校は登校が再開され、青峰学級・若竹学級の子どもたちも元気に登校しています。

久しぶりに教室で友達と一緒に学習できることを喜んでいる様子が見られます。午前中授業や分散登校という形式からの再開となりますが、徐々に学校生活のリズムを取り戻して欲しいと願っています。

